

様式4

第1 事業計画

1 個別事業計画一覧表(1)

令和6年4月10日 現在

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
林業・木材産業 の生産基盤強化	間伐材生産	水見市	(公社) 富山県農林水産公社	4	1,805	1,805	472千円/ha、120m ³	
				4	1,805	1,805		
	路網整備・ 機能強化	富山市 上市町 小矢部市 氷見市 砺波市 南砺市	富山県 立山山麓森林組合 婦負森林組合 富山県西部森林組合	林業専用道(規格相当)の整備				
				A区分				
				B区分				
				C区分				
				補強				
				点検診断				
				森林作業道の整備	7,713	15,425	15,425	
				林道等の機能強化				
				機能強化(単独型)				
				機能強化(一体型)				
				森林作業道の機能強化	7箇所	20,350	10,175	
				林業専用道(規格相当)の復旧				
	合計	7,713	35,775	25,600				
附帯事務費				800	400			
総計				38,380	27,805			

目標	事業種目 (メニュー)	実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
森林整備の地域 活動推進	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成促進	富山市	立山山麓森林組合	500	4000	2000	6年度交付金	
	交付金合計			500	4000	2000		
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林境界の明確化							
	交付金合計							
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林所有者の探索							
	交付金合計							
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 森林経営計画作成・森林境界の明確化に向けた 条件整備							
	交付金合計							
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 都道府県推進事務			富山県		275	275	6年度交付金
	交付金合計					275	275	
	基金合計							
	(森林整備地域活動支援対策のうち) 市町村推進事務			富山市		40	40	6年度交付金
交付金合計					40	40		
基金合計								
交付金総計					4315	2315		
基金総計								

目標	事業種目 (メニュー)		実施市町村	事業実施主体	事業量 (ha、m、箇所)	事業費 (千円)	国費 (千円)	備考	
再造林の 低コスト化 の促進	低コスト 再造林対策	低コスト造林の支援							
		うち一貫作業システム							円/ha 植栽樹種： 植栽本数： 本/ha
		うち低コスト造林							円/ha 具体的な施業： 植栽樹種： 植栽本数： 本/ha
		うち下刈り							円/ha 下刈り回数： 回目
		機械器具の整備							資機材の種類：
		関連条件整備活動							
		うち森林作業道の整備							
	合計								
	附帯事務費								
	総計								

(注)

- 1 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の事業実施主体については、林野庁長官が別に定める考え方に則って都道府県知事が選定した林業経営体、本事業の対象となる事業実施主体を記載すること。
- 2 「間伐材生産」及び「路網整備・機能強化」の各欄については、林野庁長官が別に定めるところにより都道府県知事が設定した生産基盤強化区域内又は市町村森林整備計画に定める特に効率的な施業が可能な森林の区域内において実施する事業について記載すること。
- 3 「実施市町村」は、事業実施主体が事業を予定している市町村名を記載すること。
- 4 「事業量」、「事業費」及び「国費」については、事業種目ごとに合計を記載し、間伐材生産、路網整備・機能強化については、2事業の総計を「総計」欄に記載すること。
- 5 「間伐材生産」は、定額の単価と間伐材生産量を備考欄に記載すること。
- 6 「路網整備・機能強化」の「林業専用道(規格相当)」については、設計・技術審査会の設置状況を備考欄に記載すること。
- 7 「森林整備地域活動支援対策」については、「交付金」「基金」別に記載することとし、備考欄に事業実施年度も記載すること。
- 8 「低コスト再造林対策」は、定額の単価及び具体的な施業、植栽樹種、植栽本数、下刈り回数、資機材の種類を事業種目に応じて備考欄に記載すること。

* 行については、適宜加除のこと。

1 個別事業計画一覧表（2）

<合計>

目標	メニュー	実施内容	事業実施主体	事業費 (千円)	国費 (千円)	地域 提案	備考
山地防災情報の周知				0	0		
森林資源の保護				0	0		
林業の多様な担い手の育成				24,772	12,105		
林業経営体の育成				67,650	29,212		

<個別事業計画>

林業の多様な担い手の育成	人材の確保・育成・定着	1. 雇用の改善及び事業の合理化支援 2. 地域の実情に応じた林業就業者に対する技術研修 3. 森林施業プランナー育成のための研修	(公社) 富山県農林水産公社 (富山県林業労働力確保支援センター)	14,935	7,466		雇用改善等支援研修14コース等 人件費3,066千円 謝金769千円 賃金1,857千円 旅費178千円 需用費714千円 役務費68千円 使用料510千円 講習費247千円 委託料7,526千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	1. 林業の労働安全に関する実技研修会等の実施、安全作業対策の支援等 2. 労働安全管理体制の整備 3. 蜂刺傷災害対策の実施	富山県	400	200		巡回指導10箇所 セミナー1回等 使用料4千円 謝金40千円 旅費10千円 需用費90千円 役務費40千円 委託料216千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	山下木材	112	50		防護ズボン54千円 ヘルメット58千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	山社	383	173		空調服24千円 ヘルメット41千円 無線機77千円 防護ズボン41千円 電動くさび200千円
林業の多様な担い手の育成	労働安全の確保	林業労働安全衛生に資する装備・装置の導入支援	土井木材(株)	134	60		防護ズボン76千円 ヘルメット58千円
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(林業機械リース支援)	ハーベスタ 1台 グラップルソー 1台	富山県西部森林組合	67,650	29,212		残存価格: 3075千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	自伐型林業の推進に伴う資機材の整備	NPO法人ひみ森の番屋	3,397	1,698		賃借料 バックホウ466千円 ユニック71千円 備品・資機材購入 林内作業車 2860千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	(株)グリーンマテリアル北陸	588	267		備品・資機材購入費 刈払い機152千円 ハーネス16千円 チェーンソー420千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	MSKリース(株)	4,710	2,140		備品・資機材購入費 測量機器3595千円 刈払い機352千円 ハーネス86千円 チェーンソー528千円 刈払い作業用ウェア 149千円
林業の多様な担い手の育成	新たに造林事業を開始する者等の育成	造林事業開始に伴う資機材の整備	玄産業(株)	113	51		備品・資機材購入費 刈払い機113千円

(注)

1 メニューについては、別表4に定める事項を記載すること。

- 2 実施内容については、森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策補助金等交付等要綱（平成30年3月30日付け29林政第893号農林水産事務次官依命通知）別表2のIの2のメニュー欄に掲げる内容を踏まえ、わかりやすく簡潔に記載すること。
 - 3 目標ごとに事業費及び国費の合計を記載すること。
 - 4 地域提案事業は、個別事業計画ごとに地域提案の欄に「○」を記載すること。
 - 5 実施地域及び項目ごとの積算基礎（実施数量、事業費の内訳）を備考欄に記載すること。
 - 6 「林業経営体の育成」の実施内容、事業実施主体、事業費、国費及び備考欄については、林業機械リース支援を活用する事業実施主体ごとに記載することとし、実施内容欄については導入予定機械名及び台数を記載すること。また、機械の再貸付けを行うものにあつては、備考欄に「再貸付」と記入すること。
- * 行については、適宜加除のこと。

2 計画主体ごとに定める指標（全体指標）

目標	事業種目 (メニュー)	全体指標	指標設定の考え方 (目標との関連性)	現状値			目標値			備考
				数値	単位	年度 (西暦)	数値	単位	年度 (西暦)	
林業・木材産業の生産基盤強化						R6 (2024)			R11 (2029)	
山地防災情報の周知	山地防災情報伝達の総合的な推進									
森林資源の保護	森林資源保護の推進									
	森林環境保全の推進									
林業の多様な担い手の育成		素材生産量(目標値)	素材生産量の達成に資するには、林業担い手の確保・育成・定着が必要不可欠である。	112	千m ³	R6 (2024)	142	千m ³	R7 (2025)	
		人材の確保・育成・定着	認定事業体数	17	事業体	R6 (2024)	18	事業体	R7 (2025)	
		新たに造林事業を開始する者等の育成	林業就業者数	430	人	R6 (2024)	436	人	R7 (2025)	
		労働安全の確保	労働災害発件数	5	件	R6 (2024)	5	件	R7 (2025)	
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	森林整備や素材生産を効率的に行うため、指標に定める素材生産量及び素材生産性の増加に資する高性能林業機械を整備を支援する。	112	千m ³	R6 (2024)	142	千m ³	R7 (2025)	増加量：30千m ³ 増加率：27%
		素材生産性(目標値)		4.2	m ³ /人日	R6 (2024)	5.3	m ³ /人日	R7 (2025)	増加量：1.1m ³ /人日 増加率：26%
再造林の低コスト化の促進	コンテナ苗生産基盤施設等整備									

(注)

1 目標単位での事業計画がある場合は、該当する全体指標について記載すること。

2 メニュー及び全体指標については、別表4に定める事項を記載すること。ただし、目標「林業の多様な担い手の育成」における全体指標の一部及び「森林資源の保護」における全体指標については、別表4を踏まえ、地域の実情に応じたものを設定すること。また、全体指標ごとに定める（）書き内の増加量、増加率等については備考欄に記載のこと。

* 行については、適宜加除のこと。